

大井小だより

夢と希望をもち、
かしこく元気な子
おもいやりのある子
お互いに学び合う子
いのちを大切にする子

令和6年 元旦

大井小学校
校長 吉村 良

あけましておめでとうございます。皆様、心穏やかなお正月をお迎えのことと存じます。今年も皆様の信頼に応えられるよう教職員一同、精一杯、取り組む所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年、最初の教職員打ち合せでは、次のような話をしました。

1：一人一人の支援の仕方に道筋を立てること。

大井小学校の子ども達の目指す姿は、”夢と希望をもち、かしこく元気な子”です。大井小学校の先生達は、子ども達がこの目指す姿に近づけるようにこれまでよく尽力してくれました。今年、1月初めの教職員打ち合せでは、担当する一人一人の子ども達が目指す姿に近づいているのかを把握し直して支援の仕方を見直すようにお願いしました。12月現在の子供達の様子を見ると、順調に学校で活躍している子、現在、悩みや心配を抱えている子、それぞれあります。この時期に子供達の様子をもう一度じっくりと把握し、どうやって一人一人の支援をしていくか道筋を立てるように話をしました。

2：思いやりのある子を育てること

大井小学校では、今年度の重点の一つとして「思いやりのある子」を位置づけこれまで取り組んで来ました。特に、子ども達が自分や自分のまわりの課題を解決していく活動を大切にしてきました。具体的には、学級活動の中で、子ども達に学級や学校をよりよくしようという願いをもたせながら、その実現に向かって子ども自身が課題解決をしていく活動を仕組んでいきます。しかし、そういった熱心な取組にも関わらず、昨年の11月には、仲間の持ち物への心ない落書き等があり、全校で話し合う機会をつくりました。今年度、残り3ヶ月となりましたが、「思いやりのある言葉」にあふれる学級づくりを目指すことと、心ない行動が許されない規律ある学級集団の育成を確認し合いました。

3：自分で学ぶ子を育てること

大井小学校では、子供達が進んで課題を見つけ、それを主体的に解決していくような授業形態を大切にしています。これは「問題解決型の学び」と言われ、今後、子供達にとって必要とされる学びとなります。問題解決型の学びの基盤となるのは、言うまでもなく「基礎的な知識や技能」に他なりません。これまでも基礎を身に付けるためには、繰り返しの学習（自学）が大切であることをお伝えしてきていますが、再度、先生達へ「子供達へ自学の大切さを繰り返し指導すること。」を話しました。同時に、子供達に自学の習慣を定着させるためには、ご家庭での見届けと励ましが何よりも大切となります。今年も親子で一緒に考える取組を行っていく予定です。保護者のみなさんのご協力をお願いいたします。

お知らせ：中山道大井宿明治天皇大井行在所にて、「大井小学校 150 周年展」が開催中です。是非、お正月休みにご家族・ご親族でお出かけください。（詳細は行在所へお尋ねください。）